

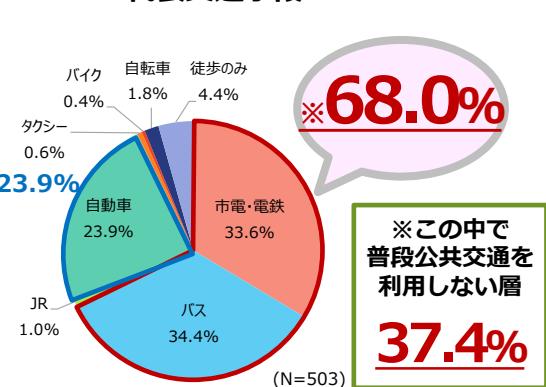
「バス・電車無料の日」効果分析レポート（2023.03.18実施分）結果概要

◆ 中心部のにぎわい

▼ 中心市街地（桜町,下通,上通）来訪者数 ※前週(2023年3月11日)との比較



▼ 当日の市中心部主要施設への代表交通手段

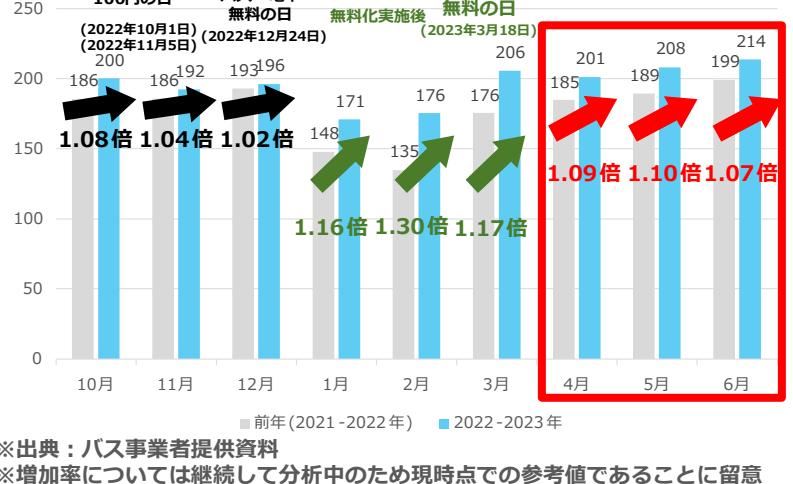


◆ 無料の日の公共交通利用者数と実施後の月別利用者数の推移

▼ 公共交通利用者数（無料化対象） 前週(2023年3月11日)との比較



▼ バス利用者数推移 分析中



・ 中心市街地における来訪者数は前週と比較し同程度となっているものの、前回実施時（12/24※クリスマススイブ）並のにぎわい。
・ 市中心部主要施設への交通手段は公共交通の利用が約7割。（自動車利用は約2割）

・ 無料の日当日の公共交通利用者数は前週比の約1.7倍。
・ 月別利用者数の推移は前年比で毎月増加傾向にあるものの、3月以降の増加率は縮小傾向。
※事業効果のほか、コロナ収束・規制緩和による影響も考えられるため、今後も様々な視点から継続して分析する必要がある。

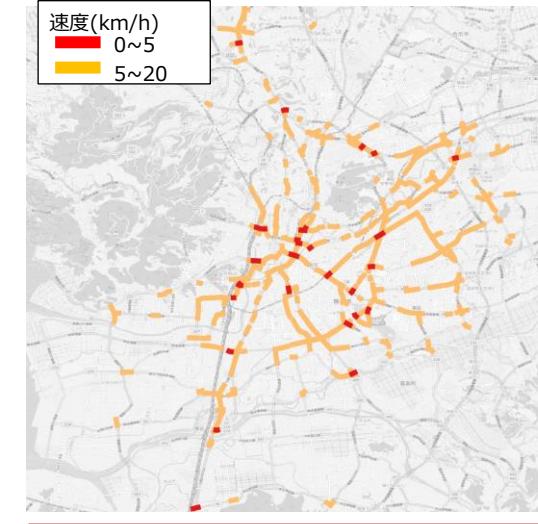
◆ 自動車交通量

▼ 交差点流入交通量の増減比較 (2023年3月11日との比較)

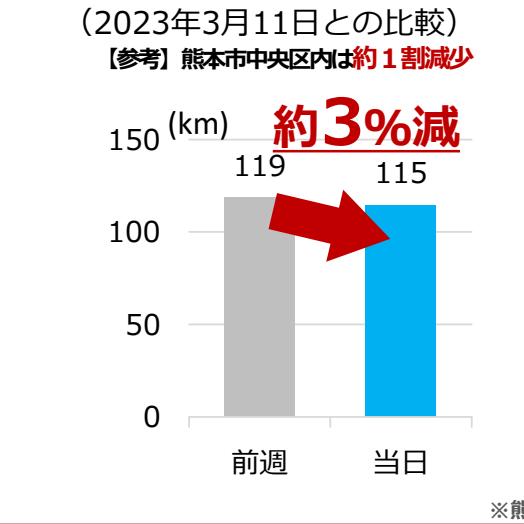


◆ 自動車旅行速度

▼ 当日（2023年3月18日）速度図



▼ 速度20km/h未満の道路延長合計 (2023年3月11日との比較)



▼ 速度5km/h未満の道路延長合計 (2023年3月11日との比較)



◆ 環境効果 (CO2削減量)

スギの木
約7,940本の
吸収量
(東京ドーム約1.7個分)

“バス・電車無料の日”による
CO₂削減量
推計 約67tCO₂

・ 公共交通への転換により環境面でも効果発現。

◆ 経済効果

経済波及効果額

中心市街地に無料の日がきっかけで来訪した人が使用した金額 産業連関表による分析 “バス・電車無料の日”による経済波及効果

推計 約1.54億円 → 推計 約1.57億円

バス・電車無料の日実施費用に対する経済波及効果額

“バス・電車無料の日”による経済波及効果 推計 約1.57億円

“バス・電車無料の日”実施費用 約0.2億円

“バス・電車無料の日”実施費用と比較した経済波及効果額 約7.9倍

※ “バス・電車無料の日”実施費用を効果分析費も含めた0.25億円とした場合、約6.3倍

経済波及効果は約1.57億円。

◆ 結果のまとめ

・ 公共交通については、利用者が大幅に増加(前週比約1.7倍)するとともに、当日の利用者のうち、普段利用しない人が約4割を占めるなど、きっかけづくりに寄与。

・ 道路交通については、公共交通への転換による渋滞緩和(交通量減少・旅行速度向上)を期待していた中、12月は概ね期待通りの効果が得られたものの、3月の主要交差点における交通量には減少がみられないなど、一部見込みと異なる結果となった。

・ 公共交通への転換による渋滞緩和効果については、引き続きさらにデータを蓄積したうえで検証していく必要がある。

注：本ページの各算出値の注釈、条件等は本編を参照